

発行日:令和元年 12 月 2 日

担当:会員サービス課 service@niigata-cci.or.jp

〒950-8711 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル7階

URL <https://www.niigata-cci.or.jp> E-mail office@niigata-cci.or.jp

年間200社入会必達のため、新会員獲得に全力で取り組む！！ ～新体制での正副部会長・委員会長と正副会頭が懇談～

正副会頭と正副部会長との懇談会を11月11日(参加者31名)に、同じく正副委員長との懇談会を11月25日(参加者26名)に開催しました。いずれも改選後の各部会・委員会の方向性について発言をいただいた後、意見交換を行いました。福田会頭は「3期目に入り、情報発信機能を一層充実させ、会議所の『プレゼンスの向上』と『活動の見える化』に結びつけていきたい」と所信を述べ、新規会員の入会が伸び悩んでいる中、「これまで14年連続で達成してきた年間新規加入200社以上を必達するため、これまで以上のご協力をお願いしたい」と協力を要請しました。各部会・委員会の今後の活動方針の概要は以下の通りです。

商業部会

業種・業態・事業規模が幅広い業種の部会員構成を踏まえ、会員の事業活動に役立てるような講演会・セミナーを開催したい。

工業部会

部会員が500社を超えるよう、部会員に未加入事業者の紹介・入会を働きかける。HP「技の蔵」サイトの抜本的リニューアルを検討する。

建設・不動産部会

オリンピック後の動向に注目して情報提供に努めたい。視察見学会は、首都圏を中心にオリンピック関連施設や再開発による最新の商業施設などを選定したい。

金融業部会

国が標榜している Society5.0 の進展により社会・経済環境がどのように変化をしていくのかという観点から、将来を考えるヒントとなるような講演会を開催したい。

輸送業部会

陸海空の旅客・貨物の立場でテーマを選定し、各種交通手段を連携させる次世代移動サービス「Maas」などのトレンドを取り上げるとともに、視察見学会は、IoTやAIを駆使した最先端技術の展示会や企業を選定したい。

観光業部会

多言語対応をはじめとするフロント強化策やスマホからの情報を頼りに旅をする方々に対するPR方法等について情報提供していきたい。視察見学会は、最新のシステムなどを導入して誘客に成功している地域を選定したい。

情報・サービス部会

業種・企業規模を問わず取り組める身近な情報発信をテーマにしたセミナーや異業種交流を促進するため、他部会との合同視察研修会を企画したい。

教育福祉医療部会

すべての部会員に関連する「生活と健康」に焦点を当てたテーマを取り上げていきたい。視察見学会は、「生活と健康を飛躍的に改善する最新技術」を中心テーマに選定したい。

総務委員会

商工会議所活動の柱となる事業計画・予算(案)及び事業報告・決算(案)など重要事項を審査する他、パワーアップ5000推進委員会を強力にバックアップしていきたい。

企業経営委員会

「取引相場のない株式の評価方法の見直し」についての継続要望等、地域の特性も踏まえながら、中小企業の経営にとって真に必要な事項について議論・研究を深めていきたい。

国際貿易委員会

「新潟港の活性化」を中心に、引き続き「オール新潟体制の構築」を踏まえて調査・研究を進め、必要に応じて先進地事例の視察を実施していきたい。

まちづくり委員会

新潟のまちにとっては、数十年に一度の大きなトピックが相次ぐ変遷の過渡期である。活力に溢れるまちの実現に向けて、様々な観点から研究と議論を行い、官民連携でまちづくりに取り組んでいきたい。

政策委員会

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂が予定されており、国が Society5.0 を提唱している。こうした内容も踏まえて、交流・定住人口拡大と新潟経済の活性化に向けて事業を推進したい。

パワーアップ5000推進委員会

会員増強策についてアイデアを出し合い、5000会員の実現を目指して取り組んでいく。

よしみ社会保険労務士事務所
社会保険労務士 吉田 明弘

☆☆今月のテーマ 《 **健康診断** 》☆☆

働く人にとって、健康の維持は責務といえると思います。その健康の目安となるのが健康診断。今月は労働者を対象にした健康診断のうち、法律で受けることが義務づけられている健康診断の解説をします。

○一般健康診断

法律では労働者に対して医師による健康診断を実施しなければいけないと定められています。その中でも基本的なものが一般健康診断です。

雇入時や1年以内ごとに1回。深夜業や特殊な環境の元で働く労働者はその業務に配置換えの際や6か月以内ごとに1回。海外に6か月以上派遣された労働者は帰国して国内の業務に就かせる際。食堂や炊事等の業務に従事する従業員は、雇入の際や配置換えの際に検便の検査も受けなければなりません。

主な検査項目は、胸部エックス線検査、血圧の測定、貧血検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査等・・・、至極基本的な内容の検査です

○特定健康診断

40歳～74歳の方は、メタボリックシンドロームに着目した健康診断を受けなくてはなりません。この健康診断を特定健康診断といいます。

○特殊健康診断など

法律で定められた有害な化学物質を取り扱う労働者や、潜水業、放射線業務、除染業務などに従事する労働者は、雇入れ時、配置換えの際及び6か月以内ごとに1回、特別の健康診断を受けなければなりません。

常時粉じん作業に従事する労働者又は従事したことのある労働者等はじん肺健診を、歯又はその支持組織に有害なガスなどが発散する場所に常時業務する労働者は、歯科医師による健康診断を、雇入れ時、配置換えの際及び6か月以内ごとに1回、受けなければなりません。

○ストレスチェック

うつなどのメンタル不調を未然に防止するために、ストレスチェックを受けなくてはなりません。

常時労働者50人以上働いている事業所が対象ですが、簡単な内容なので、労働者50人未満の事業所でも、できるだけ受けるようにした方が良いでしょう。

内容は質問項目に答えるだけで、ストレス度が判断できるというものです。

○健康診断実施後の取り組み事項

健康診断実施後、以下の項目に取り組みなければなりません。

1.結果の記録の保存 2.結果についての医師等からの意見聴取 3.必要と認めるときは、作業の転換や労働時間短縮などの措置の実施 4.結果の労働者への通知 5.医師や保健師による保健指導 6.労働基準監督署への結果報告

★まとめ★

法律で定められた健康診断は最低限のものでしかありません。よって、上記の健康診断を受けたからといって、安心できるものではありません。例えば、がんに対する検査は法律で定められていないので、職場の健康診断で異常が見つからなかった人が、後でがん罹患していたというのはよくあるケースです。どんな病気でも早期発見が治療の有効な手立てであることは言うまでもありません。定期的に健康診断を受け、さらにはがん検診なども定期的に受けることをお勧めします。

☆詳しい内容については、労務管理の専門家にお聞き下さい！新潟県社会保険労務士会ホームページ <http://www.sr-niigata.jp> ☆



坂本 光司/さかもと・こうじ

人を大切にする経営学会会長。1947年生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授、法政大学大学院政策創造研究科（地域づくり大学院）教授、同静岡サテライトキャンパス長などを歴任。国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』（あさ出版）、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』（かんき出版）など。

「社員をトコトン大切にする『シンコーメタリコン』」

滋賀県湖南市に、株式会社シンコーメタリコンという中小企業がある。創業は1933年。主事業は溶射施工という、社員数86人のモノづくり企業である。

溶射とは、金属やセラミックスなどを、さまざまな熱源により過熱し、溶融またはそれに近い状態にした粒子を物体（素材）表面に吹き付けて、皮膜を形成する表面改質技術である。分かりやすく言えば、劣化や摩耗しやすい部分には事前に、劣化や摩耗してしまった部分には事後に溶射し、製品の安全・安心・信頼性を高めるための施工である。

縁の下の力持ち的な事業ということもあり目立たないが、航空機でいえば着陸時に大きな衝撃が加わる車輪部分、橋など各種インフラ産業、さらには医療機器や自動車産業でも多用されている。

同社の強み・特長は、何といても、創業以来、つくり上げ確保してきた独自の高い開発技術力や製法技術力であるが、近年、同社がとりわけ各界・各層から注目されているのは、三代目の立石豊社長が就任した1994年以降、愚直一途に取り組んできた独自の「働き方改革」「楽しみ方改革」によるものである。

同社長が就任した当時、すでに技術的には業界ナンバーワンの企業ではあったが、最大の不満・心配は離職率が高いことであった。ちなみに、当時の離職率は40%に達することもあり、同社長は、この問題を解決しない限り、未来はないと考えたのである。大阪芸術大学出身で、かなりのプラス思考なこともあって、この25年間、働きがいのある、社員満足度の高い、そして社員が辞めない楽しい企業づくりを行ってきた。

こうした努力が実り、今や社員の離職率は実質ゼロとなり、そればかりか、溶射施工の現場は、いわゆる3K的職場というイメージであるが、事務・現業を問わず、職場は活気にあふれ、社員全員が自信と誇りに満ちた顔つき・目つきで難しい仕事に取り組んでいる。

筆者は、このコーナーでも常々、社長の仕事は「社員のモチベーションを高めること」をはじめとする五つであり、それ以外は全て社員の仕事であると言ってきた。同社長のこの言動からは、まさに、このことだけに全身全霊を注いできたことが分かる。

同社長が、社員やその家族の幸せづくりのために制度化したことは「ドリームセブン（7日間連続休暇取得制度）」「イクメンファイブ（5日間連続男性育児休暇取得制度）」「スライドワーク勤務（通常の勤務時間帯を都合に合わせて前後にスライドしながら働く勤務制度）」「誕生日手当（10万円の現金手渡し）」「スーツ手当（5万円）」「結婚記念日カード（社長からの手書きのメッセージカードとホテルの食事券）」、そして「全額会社負担の海外旅行」など、ここで全てを紹介することは不可能なほど多く、しかもきめ細かい。

先日、名古屋市内で開催された会合に同社長をお招きし、こうしたお話をしていただいた。終了後、ある経営者から「シンコーメタリコンさんは立派な業績を実現しているからこそ、そうしたことができる。弊社でもそうしたいが、余裕がない」という意見があった。そのとき、同社長は「社長さん、違います。社員をトコトン大切にしようと考え、実践してきたら業績が良くなったのです」と語った。



あんが緩めで味も麺もさっぱり系の 具たっぷりヘルシー五目あんかけ麺の店

秋も深まってくると食べたくなるのが、湯気が立った麺類です。国道116号線沿いにあるこの店でも一番人気は五目あんかけ麺(900円)。細麺の上にエビ、ウズラの卵、豚肉、タケノコ、ハクサイ、キクラゲ、ミズナがたっぷりと乗り、醤油味の緩めのだんごがスープに絡むようにかかっている喉越しがいいのが特徴です。「私の店は背脂などは使わないさっぱり味のヘルシーラーメンです。子どもさんから年配者まで食べ切ることができますよ」と言うのはオーナーの本間健一さんです。

ほかにも、甘酸っぱい味が人気の黒酢チャーハン(900円)も人気です。量が多いので二人で分けて食べることもできるし、一人でたっぷり食べるのも楽しみです。夜の時間帯に好まれているのは、ちょい飲みセット(2,000円)。ビール2本、またはチューハイ3杯に野菜炒めなどの8品から2品を選ぶことができます。



開店2年目の中華店。「国道沿いに駐車場があるのでふらっと立ち寄ってください」とオーナーの本間健一さん



体がポカポカ温まる五目あんかけ麺。五目あんかけは単品で酒のつまみとしても、中華丼になっても人気

中華料理店に30年以上勤めてきた本間オーナーがこの店をオープンさせたのは2018年8月。「いつでも、何度でも、気軽に食べに来ることができる中華料理店を」と考えて、「小さな中華屋さん 薫」と店名を決めました。ちなみに薫とは、「娘の名前です」。

特にランチタイムメニューは決めていないので、好きなときに好きなものを注文できます。ちょい飲みセットも昼間から注文は受け付けています。常連客が多いこの店の、あなたも常連客の一人になってみては！

※商品の価格表示はすべて税込みです。

チイサナチュウカヤサン カオル
小さな中華屋さん 薫

住所：新潟市西区小針西 1-5-23

TEL：090-1433-4304

営業：11：00～15：00 /
17：00～23：00

休日：月曜(祝日の場合は開店)

収容：20席

P：4台

業況DIは、駆け込み需要の反動減等から悪化 先行きは、不透明感が根強く、慎重な見方続く

- 全産業合計の業況DIは、▲24.1（前月比▲4.1ポイント）
- 根強い消費者の節約志向が続く中、消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動減により、小売業の売上が落ち込んだ。また、一部の地域ではラグビーワールドカップに伴いインバウンドを含む観光需要が好調に推移した一方、台風19号の影響による旅行客のキャンセルや客足減少、交通網の寸断、生産活動・物流面への影響を指摘する声も聞かれた。深刻な人手不足や最低賃金引上げによる人件費の上昇に加え、米中貿易摩擦や世界経済の先行き不透明感が広く業況の押し下げ要因となっており、中小企業の景況感には鈍さが見られる。
- 先行き見通しDIは、▲26.5（今月比▲2.4ポイント）
- 個人消費の拡大やインバウンドを含む秋の観光需要拡大への期待感がうかがえる。一方、消費税引上げの影響や最低賃金を含め人件費の上昇や受注機会の損失など人手不足の深刻化、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れ、貿易摩擦や世界経済の動向、日韓情勢の行方など不透明感が増す中、中小企業の業況感には慎重な見方が続く。

詳細は、日商ホームページ（ <https://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> ）を参照。

▶▶ **日商の動き**

中小企業経営専門委員会報告書

地域の発展に貢献を、経営力向上事例12社紹介

日本商工会議所の中小企業経営専門委員会はこのほど、今後の新たな企業経営や経営者の在り方などに関する検討結果を取りまとめた報告書「地域の発展に貢献する、キラリ輝く中小企業の挑戦—経営力向上に挑戦した『キラリ輝く中小企業12選』」を発行した。

同報告書では、企業を「社会の公器」と位置付け、事業活動の全てにおいて経済・社会・環境との調和の中で「共存共栄」を図り、地域と共に持続的な成長を目指して、企業の社会的価値向上に努めるのが望ましいとの考え方を示している。また、事業活動を通じて得られた「利益」を、事業充実のための投資や従業員の物心両面の幸福、取引先（サプライヤー）との成果配分、社会貢献活動、顧客や株主への還元などに有効活用することで「貢献の循環」を生むように努めることを指摘。その上で、経営の心得や価値基準の考え方、中小企業経営として望ましい在り方について、基本的方向性を提示している。

さらに、経営力の向上などに果敢に挑戦し、それぞれの地域でキラリと光り輝いてい



日商ホームページ（<https://www.jcci.or.jp/news/2019/1017140000.html>）からダウンロード可能

る中小企業・小規模事業者12社を紹介。①付加価値の創出、②新ビジネス展開、③技術革新、④省エネ経営、⑤健康経営、⑥第三者承継、⑦女性活躍推進、⑧身の丈IoT、⑨クラウドサービス活用、⑩AI活用、⑪テレワーク推進、⑫知財経営——の12カテゴリーの取り組み事例を解説している。